

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立加太中学校
校長氏名	神崎信彦
作成日	平成30年3月13日

1 教育目標

高い知性、豊かな情操、強い意志のある生徒の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	①県学習到達度調査で基本問題の正答数が市平均を上回る。 ②授業を工夫し、個に応じた指導を行っている。(生徒・教員 90%以上)	①学校が楽しいと感じる。(生徒100%) ②「希望へのかけはし」の活用100% ③いじめの解消率100%	①朝ごはんを食べた(生徒100%) ②運動部活動加入率(60%以上)	①学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ②合同避難訓練への地域の方々の参加者(100名以上)
重点目標 【P】	①基本的な生活習慣と学習規律を確立する。 ②魅力ある授業を実施し、基礎基本の定着を図る。	①道徳、人権教育の充実を図る。 ②学校行事や体験学習を地域との連携を深め、充実させる。 ③いじめの未然防止、早期発見	①体力向上の推進 ②基本的な生活習慣の確立 ③危機回避能力の育成	①家庭・地域との連携充実 ②幼小中の連携の推進 ③地域の資源活用の推進
取組の状況 【D】	①放課後を中心とした補充学習を充実させ、基礎学力の定着を図ることができた。 ②朝の読書タイムや昼休憩、放課後の図書室利用を促進することができた。特に、今年度から図書室の常時開放を実施した。 ③多くの行事を実施したが、工夫を行い授業時間を確保することに努めた。 ④現職教育を充実させ、教職員の幅広い研修を実施した。 ⑤小学校との連携による系統だった授業の推進を図れるよう努力した。	①和歌山県教育委員会作成の道徳教材「希望へのかけはし」を活用し、道徳科を見据えた授業を行うことができた。 ②いじめアンケートを各学期に実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めることができた。 ③地域での職場体験学習(1、2年生で実施)を2日間行い、望ましい職業観、勤労観を育てることができた。 ④奉仕活動(加太海岸清掃活動など)を地域の方々と協働して実施するなかで、多くのことを学ぶことができた。	①「早寝、早起き、朝ごはん」を保健だより等で継続して指導できた。 ②本年度より完全給食が始まりスムーズに実施できた。そして、食育の充実を図ることができた。 ③幼稚園・小学校・中学校・地域・関係機関と連携した総合的な津波・地震防災訓練を今年度も実施することができた。 ④運動部活動への加入率の向上を目指したが、運動部がソフトテニス部のみとなったこともあり、1年生の加入率が低くなってしまった。(加入率約50%) ⑤昼休憩の運動を推進するために、ボールの貸出や、卓球場を活用した。	①地域が主催するイベントや清掃活動等に積極的に参加し、帰属意識を高めることができた。 ②地域におけるボランティア活動に積極的に参加できた。 ③学校ホームページ等で、学校の様子を積極的に発信した。(保護者の88%の方が伝わったと回答) ④11月の学校開放月間の充実を図った。 ⑤地域と連携した防災訓練を実施した。(100名程度の参加) ⑥地域の多くの方々に来校していただけるような行事を実施することができた。 ⑦小中連携会議を毎学期実施した。
(評価結果【C】)	①目標を明確にすることにより、一人一人が、自覚を持って取り組むことができた。また生徒間での教え合い学習、学びの共同体としての活動も定着している。 ②さらに生徒が興味を持ち、主体的で楽しくわかる授業の工夫が必要である。 ③基礎基本の定着が図れるように、常に継続した取り組みが必要である。 ④全国学テでは、市平均を超していたが、県学テでは市の平均レベルであった。	①朝の「読書タイム」を1年間継続し、豊かな感性と考える力を育てることができた。 ②朝のあいさつ運動では地域の方々と気軽に挨拶を交わすことが出来ている。また、日常も挨拶の習慣が身についている。 ③職場体験活動とおして、職業というものを真剣に考える機会が得られ、貴重な経験となっている。	①本年度より完全給食が始まり、全校生徒と全教員が隣接している加太小学校へ移動して食事をとるという方法となった。そのため、昼休憩を10分間延長し、教員が先に小学校へ行き準備をするということを行ったため、午後からの授業に影響を与えるということはなく、スムーズに実施することができた。 ②体力運動能力テストに関しては、生徒の個人差はあるが、全体的には平均的である。ただ、運動部活動に入っていない生徒の運動不足が課題である。	①朝のあいさつ運動が定着できた。 ②地域へのボランティア活動に積極的に参加が出来ている。 ③観光協会・漁協・東京大学地域ラボなどの地域の方々が積極的に学校行事に関わっていただけなので、学校行事や体験学習が充実している。 ④地域活動にも積極的に参加できた。
改善方法【A】	①全国学力学習状況調査や県学習到達度調査の分析結果を参考に課題を明確にし、各教科担当を中心に単元の定着率の向上を図る。 ②少人数学習の長所を生かし、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。 ③休業中の補習学習の定着および工夫をおこなう。	①少人数化にとめない、より体験学習を活性化させる。 ②小学校・地域・家庭と連携した市民性の育成をはかる。 ③地域の伝統的・文化的行事(渡御祭、季節の祭り)に積極的に参加し、さらに地域との連携を深める。 ④加太地区内の事業所に今後ともご支援を頂き、職場体験をより充実させたい。	①給食も2年目に入ることから、より食育の充実を努めたい。 ②運動部活動に加入していない生徒の運動不足を改善するために、昼休憩の遊び方をより工夫するなど、その方法を検討し推進したい。	①学校行事がさらに充実できるように、地域関係団体との連携を深めるようにする。 ②地域防災教育の充実をはかる。 ③小中連携(合同の学校行事、授業参観、交流授業等)の充実をはかる。 ④出前授業をより充実させる。 ⑤学校運営協議会を充実させ『コミュニティー・スクール』として地域と共にある学校をめざす。

3 その他の課題

<p>①少子高齢化に伴う生徒数の激減に対応し、少人数指導の短所を克服し、長所を生かした指導の研究に努めたい。 ②加太小学校・加太幼稚園・加太地区の方々との連携をより一層強めたい。 ③昨年度から始まった東京都港区立赤坂中学校との交流を生かし、体験活動とおし、生徒の視野を広げたい。</p>
